



1971年～72年

年 次 報 告

昭和46～昭和47年度

横浜緑ロータリークラブ

目

次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	1
クラブ奉仕担当理事報告	3
出席委員会報告	3
職業分類委員会報告	6
親睦活動委員会報告	7
雑 誌 委 員 会 報 告	8
会 報 委 員 会 報 告	8
会員選考委員会報告	9
会員増強委員会報告	9
プログラム委員会報告	10
ロータリー情報委員会報告	10
広 報 委 員 会 報 告	11
S. A. A. 報 告	12
社会奉仕委員会報告	12
国際奉仕委員会報告	13
ロータリー財団委員会報告	14
職業奉仕委員会報告	15
会 計 報 告	16
横浜緑ロータリークラブ組織表	18
充填、未充填職業分類表	19

会 長 報 告

秋 田 茂

前年度は会員増強について、359地区で第1位の栄冠を得たが、本年度は急増会員相互間の親睦をもつことを力点におき41名と横ばいの状態に終わった。

しかし会員はロータリー精神の浸透と行動を高め、社会奉仕の面に於ては、見るべきものがあったと思う。特に中山駅前に建てた時計塔は、地域市民の拍手をうけ、広報活動にも大いに役立った。

ロータリー財団に於ては、すでに2000%を超え、新しいクラブとしては、特筆すべき成績であり、ポールハリスフェロー3名、準フェローの数も24名に達している。

ローターアクト、インターアクトの創立は遂にその機熟せず、設立の運びには到らなかった。

クラブの活動は先ず親睦からの考えの下に会員相互間の調和を求め、その機運の中に、いろいろの面で充実して来たと思う。

幹 事 報 告

幹 事 三 澤 君 夫

副幹事 吉 田 晴太郎

幹事の重任を無事に終了。先輩各位並に各委員長さんの御協力、御指導に改めて厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

第二年目のクラブとしては先づ会員相互の親睦融和をモットーに各種のグループを作り大いにハッスルしました。特筆すべきは小唄同好会の発足でした。次に中山駅前に時計台を設置し、緑区役所新庁舎完成を記念して傘立を寄贈。更には五ヶ年計画によるこどもの国への「ロータリーの森」建設等々、外に向ってはオーストラリア第255地区よりの交換学生の受入。姉妹クラブスイス、フラウイルR.C.に対する交友関係の推進等、国際親睦理解へと前進。これらの活動により緑区民に対しロータリー精神の昂揚に努め、社会奉仕活動の実をあげました。最後に例会場の女子職員の方々、ならびに事務局の並々ならぬ御協力、御配慮に紙面をかりまして厚く感謝いたします。

以下クラブの概況を報告します。

名 称 横浜緑ロータリークラブ

地 域 横浜市緑区一円 人口 189,686人(男 99,740 女 89,946)

(4 7 . 6 . 3 0 現在)

事務所 横浜市緑区中山町 横浜銀行中山支店内

例会場 同 上

例会日 毎水曜日 1 2 . 3 0 ~ 1 . 3 0

創 立 昭和 4 5 年 2 月 2 8 日 (スポンサークラブ 横浜港北 R C)

昭和 4 5 年 3 月 1 1 日 R I の正式加盟承認

昭和 4 5 年 1 2 月 1 3 日 認証状伝達式

4 クラブ合同 (於横浜市文化体育館)

(1) 会 員

① 会員の種類

正会員	3 8 名	計	4 1 名
シニアアクティブ会員	3 名		
内チャーターメンバー	2 1 名		
新入会員	6 名	6 月末会員	4 1 名

② 年 令

7 0 才	2 名	最高年令	7 6 才
6 0 才	6 名	最低年令	3 5 才
5 0 才	1 3 名	平均年令	5 1 才
4 0 才	1 8 名		
3 0 才	2 名		

(2) 例会の来客数

例会数 4 9 回

来客数 (ゲスト及ビジターの合計数 1 3 5 名)

月	例会数	来客数	月	例会数	来客数
7	4	1 0	1	4	5
8	4	1 2	2	4	1 2
9	4	1 9	3	5	9
1 0	4	1 3	4	4	1 2
1 1	3	9	5	4	1 5
1 2	5	1 1	6	4	8
					1 3 5

来訪クラブ数 1 9 クラブ

一例会平均 約 3 名

(3) 行事及諸会合

- ① 地区協議会 4 7. 6. 2 4～2 5日 9名
- ② 地区大会 4 6. 1 0. 1 6～1 7日 出席者 1 3名
- ③ インターシティーゼネラルホーラム 4 6. 1. 2 2

(4) その他の会合

- ① 第一分区会長会
4 6. 7. 1 9 会長
- ② ロータリー財団委員長会議
4 6. 8. 1 6 戸田会員 於 横浜スカイビル
- ③ 会長副会長幹事会
4 6. 8. 2 7 会長副会長幹事出席 於 横浜東急ホテル
- ④ R財団研究グループ歓迎交歓会
4 6. 1 0. 3 会長幹事副会長、藤森国際奉仕委員長出席 於 華正楼
- ⑤ 地区年次大会
4 6. 1 0. 1 6～1 7 多数出席 於 清水
- ⑥ 地区都市安全委員会
4 6. 1 1. 1 5 於 横浜スカイビル
- ⑦ 現、次期会長、幹事会
4 7. 3. 6 4名出席 於 横浜スカイビル
- ⑧ R財団委員長会議
4 7. 3. 9 戸田委員長 於 横浜東急ホテル
- ⑨ 社会奉仕委員長会議
4 7. 3. 2 3 中山委員長 於 スカイビル
- ⑩ 現、新会長幹事会
4 7. 4. 2 4 4名出席 於 横浜東急ホテル

クラブ奉仕担当理事報告

出席委員会報告

委員長 岡 本 健
委 員 森 善 助
" 渡 辺 宏 末

- (1) 会員各位の出席状況が判る様に例会場に出席表を掲示しました。
- (2) 欠席会員には電話連絡等で出席を促し出席率100%以下の会員にはニコニコBOXに寄附をお願いしました。

(3) 出席率100%以上の会員にはロータリーマーク入りの記念品を贈呈しました。

① 会員出席状況

1		2	3	4	5
1971例会日付		会員総数 (名誉会員を 除く)	出席計算に用 いた会員数	出席又はメー ク・アップし た会員数	百分率
7月	7月 7日	41	41	40	97.56
	14日	41	41	40	97.56
	21日	41	41	39	95.12
	28日	41	41	39	95.12
				合計	385.36
				平均百分率	96.34
8月	8月 4日	41	40	39	97.50
	11日	41	40	39	97.50
	18日	41	40	39	97.50
	25日	41	39		
				合計	
				平均百分率	
9月	9月 1日	40	40	40	100
	8日	40	40	39	97.50
	22日	40	40	39	97.50
	29日	40	39	38	97.44
				合計	392.44
				平均百分率	98.11
10月	10月 6日	40	40	40	100
	13日	40	40	40	100
	20日	40	40	39	97.50
	27日	41	41	40	97.56
				合計	395.06
				平均百分率	98.77
11月	11月 10日	41	41	41	100
	17日	42	42	42	100
	24日	42	42	42	100
				合計	300
				平均百分率	100
12月	12月 1日	42	42	42	100
	8日	42	42	40	95.24
	15日	42	42	41	97.62
	23日	42	42	41	97.62
	29日	42	42	42	100
				合計	490.48
				平均百分率	98.10

1	2	3	4	5
1972 例会日付	会 員 総 数 (名 誉 会 員 を 除 く)	出席計算に用 いた会員数	出席又はメー ク・アップし た会員数	百 分 率
1 月 1 月 5 日	42	42	41	97.62
1 月 12 日	42	42	42	100
1 月 19 日	42	42	41	97.62
1 月 26 日	42	42	41	97.62
			合 計	392.86
			平均百分率	98.22
2 月 2 月 2 日	42	41	41	100
2 月 9 日	42	41	41	100
2 月 16 日	42	41	41	100
2 月 23 日	42	41	40	97.56
			合 計	397.56
			平均百分率	99.39
3 月 3 月 1 日	41	40	40	100
3 月 8 日	41	40	39	97.50
3 月 15 日	41	40	37	92.50
3 月 22 日	41	40	37	92.50
3 月 29 日	41	40	38	95.00
			合 計	477.50
			平均百分率	95.50
4 月 4 月 5 日	41	40	39	97.50
4 月 12 日	41	40	40	100
4 月 19 日	41	40	39	97.50
4 月 26 日	41	40	40	100
			合 計	395.00
			平均百分率	98.75
5 月 5 月 10 日	41	40	40	100
5 月 17 日	41	40	39	97.50
5 月 24 日	41	40	38	95.00
5 月 31 日	41	40		95.00
			合 計	987.50
			平均百分率	96.88
6 月 6 月 7 日	41	40	38	95.00
6 月 14 日	41	40	39	97.50
6 月 21 日	41	40	38	95.00
6 月 28 日	41	40	39	97.50
			合 計	385.00
			平均百分率	96.25

② 本年度個人100%出席者並連続100%の会員は下記の通りです。

本年度 100 % 会 員	連 続 100 % 年 数	本年度 100 % 会 員	連 続 100 % 年 数
秋 田	3	中 山	
麻 生	3	名 倉	3
浜 田	3	野 路	
細 辻	3	岡 本	2
石 川	2	柴 田	3
岩 本		高 橋	2
岩 沢	2	富 永	2
加 藤	2	戸田修	2
小 林	3	土志田	3
小 峰	3	鵜 川	3
小 沢	3	渡 辺	
三 橋	3	山 下	
森 善		好 井	2
武 藤	2	戸田裕	入会以来 100 %
中 野			

尚、加藤雅光君は港北クラブ以来9年、小林安雄君は同じく10年、戸田修君は同じく3年 夫々連続100%になります。

職 業 分 類 委 員 会 報 告

委員長 好 井 良 雄
委 員 高 橋 正 文

本年度は会長の方針にもありますように、会員数45名を目標に、会員増強委員会と連携をとりながら、先ず8月末日までに新年度職業分類表の整備を完了し、受入体制を整えました。退会者3名を出したことは残念でしたが、新入会員 3名をお迎えしたことはよろこばしいことでした。尚、緑区のもつ特殊性から各種企業の進出がめざましく、職業分類の開放についても、会員増強委員会との連携をとらなければなりません、未充填職業の充填に先ず重点をおくことが大切であると考えております。

親睦活動委員会報告

委員長	山	口	吉	蔵	古	屋	晃
委員	名	倉	健	二	沢	山	勇
	中	野		実	清	水	勇
	三	橋	英	一			
	長	瀬	正	作			

親睦こそロータリー奉仕の発展の基礎であるとの理念から、入会間もない私が戸間どいながら会員諸先輩の助言と指導をいたよき乍ら会員と家族間に特に留意して、大切に回を重ね六回の親睦会を催しました。

- 第一回 11月27日 港北クラブ麻雀大会 選手5名(会員)
和気霽々のうちに親睦麻雀を楽しみました。
- 第二回 12月23日 会員家族クリスマスパーティ(於横浜プリンスホテル)会員40名家族49名ゲスト2名 計 91名で開催大いに面識を深めて楽しいクリスマスを祝う会となり有意義な親睦会となりました。
- 第三回 1月12日 新年会(於中山花むら)会員25名新年会にふさわしい楽しい会となり年始めを祝い会う事が出来ました。
- 第四回 4月27日 歌舞伎観劇会(於歌舞伎座) 会員17名家族12名計29名
日本伝統の豪華絢爛たる歌舞伎劇の真随にふれ楽しく観賞にしたる事が出来ました。
- 第五回 会員会社対抗ボーリング大会(於三沢会員、青葉台ボウル) 会員11名従業員及家族33名計44名 選手一同ボールの快音に時の経つのも忘れて競技を楽しみ合う事が出来ました。鈴木憲一さんの「この楽しさを忘れないで皆さん仲よく、それぞれの仕事を通じて奉仕しましょ。」と云う挨拶があり万才を三唱して賞品も重もく散会しました。
- 第六回 6月28日～29日 期末一泊旅行会(於熱海大野屋)
会員29名書記1名計30名。秋田会長の挨拶、引き続き石川会員の乾杯から宴会となり年間の各役員の御苦勞を感謝し新役員会員相互の新年度の更らに発展を約束し会い乍ら一泊旅行にふさわしく親睦の目的をはたすことが出来ました。

其の他の行事

- ①ゴルフ同好会は隔月に実施し、尚4ロータリークラブ合同大会も開いております。
- ②小唄同好会は名師匠を迎え毎週勉強会を開いております。

以 上

雑誌委員会報告

雑誌委員長 志 田 宝
委 員 細 辻 文 治

1. “ロータリーの友”誌を会員各自の事業所におき、従業員のえつらんに供し、ロータリー精神の理解に努めた。
2. “ロータリアン”誌の予告又は珍しい記事等を会員に解説した。
3. “ロータリーの友”誌に対する感想、好んで読む記事又はどんな風に此の雑誌を利用しているか等の調査を為し、“ロータリーの友”に寄稿した。

会報委員会報告

委員長 武 藤 松 一
委 員 岩 沢 幸 男
〃 中 野 実

実施事項その他に就いて報告致します。

- (1) 例 会 数 49回 会報発行回数 49回
- (2) 会報表紙のデザインを変更して10月より実施しました。
- (3) 会報への会員参加を主眼として、会員全員の原稿を多数掲載する事が出来ました。
- (4) 会員その他の写真を出来るだけ多く載せる事に努力し、略、目的を達しました。
- (5) ガバナー公式訪問の際 ガバナー及分区代理より指示及注意を受けた事で会報の記載フォームを変更し、頁数の割りに内容を充実することが出来ました。
- (6) ロータリー文献の会報への掲載には努力しましたが、シリ切れトンボに終わった事は残念に思っております。
- (7) 会報送附先

ガバナー、ガバナーノミニ、ロータリーの友編集部、神奈川第1分区代理、

県内パストガバナー 5氏、神奈川第1分区内ロータリークラブ、
359地区広報委員長及委員、神奈川第1分区分会委員長及委員、
退会者、卓話者、横浜緑港北新設、横浜市緑区の区長、警察署長

会員選考委員会報告

委員長 加藤 雅 光
委 員 鈴 木 憲 一
〃 小 峰 政 博

年度始めに立てた選考の三つの柱に則って選考を進めた。特に親睦団体としての性格上、会員の一人からでも反対のある場合は保留すると云う一項に、特に忠実に行つたつもりでいる。その結果3名の被推せん者が、最終段階で、保留となっている。この現実が、よいことかどうかは、時間をかけてゆっくり検討し見守らねばならないことであらうし、特に選考問題は、クラブとクラブ会員相互の、一生の関係を支配するものである以上、この基本的な問題は、今后慎重に討論されるべきであらう。これらの年間の選考過程で特に議論の対象となったことは、その被推せん者の人格識見ロータリアンとしての将来の可能性を重くみるべきなのか、その職業分類における、その地域同業者の中での位置及び、実績に重点をおいて考えるのか、と云う問題であった。委員会としては、反対があったと云う事実のみによって決裁したが、この問題は次期の委員会で更に真剣に論議されるべきであらう。次に、金融機関等の支店の異動に伴う会員の補充についても、その会社で会員のわくを一つもっていると云う考え方は、当然あるべきではないが、念のために、欠員を生じた時点で、金融機関の店長会の世話役の方に、ひろく他の金融機関でも適任者が居るか否かを、白紙にもどって検討して頂いた。この配慮は、このような発展途上の地域では特に必要であらう。そして、ここでもロータリー会員の資格選考の上で、その職場を重点と考えるか、個人の人格を重点と考えるかと云う問題に逢着するのである。以上年間の重なる問題点をとりあげ、今後の運営の参考に供した次第である。

会員増強委員会報告

委員長 小 林 安 雄 好 井 良 雄
委 員 加 藤 雅 光
〃 石 川 治 道

本年度当初、当委員会としては5名増強し、年度末には45名を目標としておりましたが、諸

般の事情から目的を達成出来なかったことは残念であります。これは年度末近くに2名の転勤者と1名の事業所移転と更に1名は退職という不測の事態が生じた結果であり止むを得ぬものと思致致します。

又居住地会員については当地区が自都のベッド・タウン化しており、適格者を見出すことに非常な困難を感じた次第です。

尚次年度は、前記転勤者の後任として既に2名の入会がほぼ確認しております。

記

(1)	1971年6月30日現在	会員数	40名
①	1971年7月～72年6月	入会者数	6名
②	"	退会者数	5名
(2)	1972年6月30日現在	会員数	41名
①	正会員		38名
②	アディショナル正会員		0名
③	シニヤ アクティブ会員		3名
④	パストサービス会員		0名

プログラム委員会報告

委員長	麻生和衛
委員	黒沢保
"	鵜川昇

「良い卓話を聞く」が会長の基本方針の一つであり、会長自ら先頭に立ち、立派なスピーカーを招く努力を重ねられ、謝礼に就いても格別の柔軟なる処置をとって頂いた。

此の為、当クラブの地理的悪条件を克服し立派な卓話を数多く聞く事が出来る事を望外の幸と感じている。

ロータリー情報委員会報告

委員長	岩本正三
委員	富永力
"	吉田晴太郎

1971-72年のプログラム予定表に従ってその計画を実施した。

第1回 炉辺会談 46年12月10日 「米福」に於て出席者 17名、ロータリー情報の諸問題について活発な意見の交換を行なった。

話題の主なるものは

- (1) 食事改善の問題
- (2) 例会に於ける着席順序の問題
- (3) 好井会員の御厚意により中山駅前広場中央に時計台を設置する

(47年6月7日 会長、駅長を初め多数参列 岩沢会員のみの幼稚園園児により除幕式を行った。)

第2回 炉辺会談 47年2月18日、花むらに於て出席者11名

初めに情報委員長の極めて行き届いた資料に基いて地区田中ガバナーの経歴、人柄、指針について談話紹介を行う。続いて国際ロータリー製作の「よりよき世界を創るために」と題するスライドを映写、詳細に解説 終って親睦を計り乍ら情報の交換を行った。

第3回 炉辺会談 「米福」に於て 47年6月23日

クラブ会報、プログラム委員の出席を願ってロータリーの情報活動の在り方について意見の交換を行い、緊密な連絡の円滑化を検討した。

広報委員会報告

広報委員長 名 倉 健 二
委 員 柴 田 清

1. 計 画

- (1) 当クラブ会員を媒体としての報道
- (2) 地元報道機関を媒体としての報道
- (3) 広報板による報道

2. 実 施

- (1) 報道(1)については、P. R. BEGINS WITH YOU の YOU(会員)の手を煩わし、家族や従業員に「テープ」を流し、この6月の「ロータリー意識調査」によって、成果を問い、次年度広報計画の参考に供した。
- (2) 計画(2)については、緑港北新報と新たにみどり新聞を加えた両紙面に記事の掲載をお願い

した。

- (3) 広報板は地元金融機関にお願いして、「奉仕活動」の実例を写真で理解して頂いた。
- (4) 社会奉仕委員とタイアップして、6月7日に中山駅前に設置した時計台のポストには、随時「広報」用掲示板が掲げられるよう設計されているので、活用如何によっては大きな成果が得られるものと確信している。

S. A. A. 報 告

委員長 山下 栄 蔵

会場監督として秩序正しく、品位を保ち、融和的な会合で訪問者、及来賓により印象を与える様努力しました。

尚本年度の計画を下記の通り履行した。

1. 会場を合理的にするために、会員の名札を作り之を活用する事に依り会場のムードを変える事も出来た。
2. 昼食は目先を変えた献立を用意し、会員の期待に添う様努力した。之に依り季節に依り献立も変える様努力した。
3. スマイルボックスは予定通り会員各位の御協力により達成出来た。

社 会 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長 中山 恒三郎 坂 本 修
委員 岩 崎 董 正 (中途退会)
〃 岩 沢 幸 男

ロータリーの社会奉仕活動が単なる寄付行為でなく、自分たちの生活の中に自然にあらわれて来る奉仕活動、又、自分だけでなく、その家族、会社、従業員をも含んだ行動で表わす奉仕活動を考えましたが、何も出来ず一年が終了しました事を深く反省いたします。

実 施 事 項

1. 交通事故防止運動

- 川和警察署の交通事故防止活動用具を購入する。 ￥50,000
- 区内小学校新入生に交通事故防止標語の入った下敷を配布する。4000枚 ￥96,000

2. 社会福祉関係

- ・ 横浜市社会福祉施設 岩井寮の老人にオシメを贈った。(ロータリアン個人が作製したもの)

・ 横浜市盲人福祉協会の会館建設基金募集演芸会へ協力する。 ￥ 7,000

3. 青少年対策

・ 区内中学校体育協会へトロフィを寄贈する。 ￥ 80,000

・ 「子供の国」へ植樹する。(五ヶ年計画) ￥ 50,000

4. その他

・ 中山駅前広場へ時計台の建設 ￥147,000

・ 緑区役所落成記念に公会堂に傘立を寄贈する。 ￥150,000

計 ￥580,600

国際奉仕委員会報告

委員長 高 橋 正 文
委員 麻 生 和 衛
" 松 田 三 郎

1. 国際親睦理解活動への参加について

- (1) 姉妹クラブフラウィルRCに対し、新年度の役員、理事の紹介をかねて、全国高校野球大会に優勝した桐蔭高校チーム招待例会模様の写真を添えて伝え、又横浜港、市内の写真、絵はがき、又当359地区にそびえる秀峰富士の姿をアルプスの国—スイスへ紹介。

又、1973年ローザンヌの国際大会に多数参加、必ずクラブ訪問をしたい旨伝達。

- (2) 国際理解週間には元外務次官山田久就氏を招いて「日本人と外交」と題する卓話を聴取した。

- (3) 海外旅行した会員にはその地のRCを必ず訪問していただき、バナー等の交換を行った。

2. 国際青少年交換計画への参加

オーストラリア255地区との交換学生2名を受入れ、緑区内にある桐蔭高校に於て、日本語、日本事情の教導を願い、又夏季休暇中は各会員家庭に1週間宛滞在し理解と親睦に大きな成果をあげた。しかし日本人高校生にまじっての研修については多くの反省すべき点が多かった。

3. 世界社会奉仕への参加

スイス、フラウィルRCを通じてアフリカの農業技術援助を行う計画をたて、1973年に実

施の予定でその準備をすゝめた。

ロータリー財団委員会報告

委員長 戸 田 修

委員 坂 本 修

ロータリー財団の精神は「博愛、慈善、教育的性質の確実で且つ効果的な企画によって各国の国民間に理解と友好関係を増進する」ことである。1917年に米国ジョージア州アトランタに於ける国際大会で時のRI会長アーチ・クランク氏が提案したことが基礎となり、更に1928年ミネアポリス国際大会で現在のロータリー財団として知られる組織の設立が承認され、其の後第二次大戦等により一時停滞したが1947年ロータリー創始者ポールハリスの死去により、国際理解のため、ロータリー奨学金プログラムが発足した。其の後は目覚ましい発展が続けられ、各種の奨学金、補助金が青年の教育的、国際的友好の為に多額に費して居る。従って世界のロータリアンは、此の崇高なプログラムの年々飛躍せんことを願い財団に協力し、寄附額を増額し、永く続くことを願わねばなるまい。さすがに吾が緑ロータリークラブの今年の財団の仕事を回顧して見れば

- (1) 7/11理事会に於てGood Will Box が制定された。

これは会員子弟に関する祝い事、即ち入、卒祝い、学校に於ける褒賞の際、1ドル(400円)を入れてもらい集計し財団に提供する。

- (2) ポール、ハリスフェロー 2名 黒沢保君、武藤勝典君(武藤会員令息)

- (3) ポール、ハリス準フェロー 8名

長瀬正作君、岩本正三君、森一哉君、岡本健君、岩沢幸男君、志田実君、野路久治君、中野実君

- (4) 本年RI財団からの吾がクラブの活躍振りは下記の通りである。

1月末 1800%

2月末 1900%

3月末 2000%

- (5) 1971年度地区大会に於て寄附順位は82club 中第10位であった。

- (6) 11月15日を中心とする財団週間にはバスターガバナー上野泰氏を迎え卓話を賜り当日、

2700ドル即ち邦貨904,500円を寄附した。

以上を以て本年度の予定計画を殆ど終了したことを茲に報告致します。

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長 土志田 昭 吉

委 員 森 善 助

〃 野 路 久 治

本委員会着任当初には、色々と実施計画を、たてましたが、そのうちの一つをとりあげてやろうとしても、それが職業奉仕委員会の領域ではないとか云われて、その機を逸しまして、本年は殆んど仕事がなされておられません。職業奉仕委員会の資料の抜萃の説明だけに終わりました。しかし、この職業奉仕は、きわめて広く奥深いものでありますから、今後共、クラブ全会員に、「ロータリー精神を各人の職場に生かす」よう努力いたしたいとおもいます。

会 計 報 告

収 入 の 部

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 比	備 考
会 費	3,010,000	2,959,000	△ 51,000	30,000×6名
入 会 費	150,000	180,000	30,000	
スマイルボックス	600,000	639,148	△ 39,148	700円×71名
ビ ジ タ ー 収 入	84,000	49,700	△ 34,300	
本 部 納 入	18,000	19,520	1,520	10\$寄附
グッドウィルボックス収入		8,513	8,513	
雑 収 入	30,000	17,521	△ 12,479	
前 年 度 繰 越	432,720	432,720		
合 計	4,324,720	4,306,122	18,598	

支 出 の 部

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 比	備 考
本部納入 R I 分 担 金	133,300	107,904	△ 25,396	
〃 財 団 寄 附	81,264	102,097	20,833	
〃 地 区 資 金	133,300	125,550	△ 7,750	
〃 米山 フアンド	43,000	40,500	△ 2,500	
〃 其 の 他	7,740		7,740	
小 計	398,604	376,051	△ 22,553	
委員会費 クラブ奉仕	245,000	234,940	△ 10,000	
〃 職 業 奉 仕	25,000	0	25,000	
〃 社 会 奉 仕	600,000	600,600	600	
〃 国 際 奉 仕	160,000	154,210	△ 5,790	
小 計	1,030,000	989,750	△ 40,250	
例 会 費	1,000,000	938,760	△ 61,240	
会 議 費	70,000	60,100	△ 9,900	
登 録 費	40,000	33,000	△ 7,000	
書 籍 費 ザ・ロータリアン	46,440	24,628	△ 21,812	
〃 ロータリーの友	56,760	55,440	△ 1,320	
〃 其 の 他	50,000	48,950	△ 1,050	
小 計	1,263,200	1,160,878	△102,322	
事務局費 事 務 費	30,000	18,490	△ 11,510	
通 信 費	40,000	31,276	△ 8,724	
事 務 委 託 費	440,000	440,000	0	
小 計	510,000	489,766	△ 20,234	
贈 答 費	180,000	174,400	△ 5,600	
慶 弔 費	50,000	44,200	△ 5,800	
印 刷 費	570,000	565,139	△ 4,861	
備 品 費	90,000	86,410	△ 3,590	
雑 費	80,000	77,580	△ 2,400	
予 備 費	152,916	341,948	次期繰越金	
合 計	4,324,720	4,306,122	△ 18,598	

横浜緑ロータリークラブ組織表

1971～72（昭和46～47年度）

1 理事 秋田 茂 藤森 茂 石川 治道 小林 安雄
中山 恒三郎 名倉 健二 土志田 昭吉

2 役員 会長 秋田 茂 会計 浜田 淳太郎
副会長 小林 安雄 S. A. A. 森 一哉
幹事 三沢 君夫 副S.A.A. 山下 栄蔵
副幹事 吉田 晴太郎

3 委員会

A クラブ奉仕担当理事 小林 安雄

1. 委員会 委員長 委員

1. 出席 岡本 健 森 善助 渡辺 宏末
2. 職業分業 好井 良雄 藤森 茂(2) 高橋 正文(3)
3. 親睦活動 山下 栄蔵 三橋 英一 長瀬 正作
戸田 裕也 中野 実 清水 勇
山口 吉蔵 藤本 明 名倉 健一
古屋 晃 澤山 勇三
4. 雑誌 志田 宝 細辻 文次
5. クラブ会報 武藤 松一 岩沢 幸男 中野 実
6. 会員選考 加藤 雅光 鈴木 憲一 小峰 政博
7. 会員増強 小林 安雄 加藤 雅光 好井 良雄
石川 治道
8. プログラム 麻生 和衛 黒沢 保 鵜川 昇
9. ロータリー情報 岩本 正三 富永 力(2) 吉田 晴太郎(3)
10. 広報 名倉 健二 柴田 清

B 社会奉仕担当理事委員長 中山 恒三郎

都市安全 坂本 修 インターローターアクト 岩沢 幸男
社会福祉、青少年事業 岩崎 董正

C 職業奉仕担当理事委員長 土志田 昭吉

委員 森 善助 野路 久治

D 国際奉仕担当理事委員長 藤森 茂

国際青少年交換、国際親睦理解 麻生 和衛

ロータリー財団 戸田 修 坂本 修

世界社会奉仕 松田 三郎

ロータリー米山財団 鵜川 昇 松田 三郎

充 填、未 充 填 職 業 分 類 表

(昭 和 4 6 . 7 ~ 4 7 . 6)

正 会 員

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
農 機 具 工 業	農 機 具 配 布			
農 芸	農 業	森 善 助		
冷 暖 房	空 気 調 整 装 置 製 造	武 藤 松 一	(株) 武 藤 電 機	取 締 役 社 長
	冷 暖 房 機 器 配 布	古 屋 晃	(株) 産 業 設 備	代 表 者
畜 産 業	養 鶏			
自 動 車 工 業	ば ね 製 造	石 川 治 道	日 研 発 条 (株)	取 締 役 社 長
	自 動 車 配 布			
	自 動 車 修 理			
酒 精 飲 料	酒 類 配 布	中 山 恒 三 郎	(株) 中 山 恒 三 郎 商 店	取 締 役 社 長
清 涼 飲 料	果 汁 飲 料 配 布			
建 築 材 料	建 築 材 料 配 布			
ビ ジ ネ ス サ ー ビ ス	税 理 士			
化 学 工 業	医 薬 品 配 布			
	化 学 肥 料 配 布			
被 服 工 業	男 子 服 配 布			
	婦 人 服 配 布			
菓 子	洋 菓 子 配 布			
建 設 業	建 築 設 計	渡 辺 宏 未	(株) 渡 辺 工 務 店	専 務 取 締 役
	請 負 業	土 志 田 昭 吉	土 志 田 建 設 (株)	取 締 役 社 長
	工 場 鉄 骨	黒 沢 保	昭 和 鉄 工 (株)	代 表 取 締 役
	プ レ ハ プ 建 築	山 下 栄 蔵	山 下 工 業 (株)	取 締 役 社 長
	土 木 工 事	三 橋 英 一	三 橋 建 設 (株)	取 締 役 社 長
衣 料 及 雑 貨	衣 料 配 布			
	ショ ッ ピ ン グ セ ン タ ー			
教 育	短 期 大 学	藤 森 茂	ト キ ワ 松 学 園 女 子 短 大	事 務 局 長

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
教 育	高 等 学 校			
	幼 稚 園	岩 沢 幸 男	み ほ 幼 稚 園	園 長
	自 動 車 教 習 所			
電 気 及 電 子 工 業	電 子 機 器 製 造	吉 田 晴 太 郎	日 本 高 周 波 (株)	取 締 役 社 長
	通 信 機 器 製 造			
金 融	貯 蓄 銀 行	浜 田 淳 太 郎	横 浜 銀 行 中 山 支 店	支 店 長
	商 業 銀 行	松 田 三 郎	三 井 銀 行 青 葉 台 支 店	支 店 長
	興 業 銀 行			
	信 用 金 庫	小 峰 政 博	八 千 代 信 用 金 庫 長 津 田 支 店	支 店 長
	相 互 貯 蓄 及 貸 付 業			
銃 器 及 火 薬	銃 器 製 造	岡 本 健	(株)ミロク精機製作所	取 締 役 社 長
食 品 工 業	飼 料 製 造	麻 生 和 衛		常 務 取 締 役
	飼 料 配 布			
	穀 物 配 布			
植 物 性 食 品	果 物 野 菜 缶 詰 配 布			
家 具 及 備 品	家 庭 用 家 具 配 布			
ガ ス 工 業	液 化 圧 縮 ガ ス 配 布			
金 物	耐 熱 金 属 製 造	細 辻 文 次	真 空 冶 金 (株)	取 締 備 社 長
	金 属 性 工 具 配 布			
時 計	時 計 配 布			
園 芸	花 配 布			
ホテルリゾート及 レストラン	ド ラ イ ブ イ ン			
施 設 及 病 院	病 院	戸 田 裕 也	長 津 田 厚 生 総 合 病 院	副 院 長
絶 縁 材 料	空 気 絶 縁 物 製 造	山 口 吉 蔵	横 浜 化 成 (株)	取 締 役 社 長
鉄 鋼 業	鉄 鋼 配 布			
	鉄 鋼 建 築 業	好 井 良 雄	(株)好井鉄工所	取 締 役 社 長
貴 金 属	宝 石 配 布			
洗濯・クリーニング 及 染 色	ク リ ー ニ ン グ			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
法 律	一 般 弁 護 士			
機 械 及 装 置	履 帶 製 造	名 倉 健 二	(株)東京リング製作所	取締役社長
	金 型 製 造			
	機 械 配 布			
	温 度 調 節 器 製 造	藤 本 明	宝 工 業 (株)	
動 物 性 食 品	肉 類 配 布			
	乳 製 品 製 造	清 水 勇	(株)雪印こどもの国牧場	常務取締役
医 術	内 科 医	高 橋 正 文	高 橋 医 院	院 長
	歯 科 医	岩 本 正 三	岩 本 歯 科 医 院	院 長
	消 化 器 科 医	加 藤 雅 光	ヨコハマ クリニック	院 長
金 属 工 業	板 金 工 作	小 林 安 雄	小 富 士 産 業 (株)	代表取締役
事 務 所 用 品	イ ン キ 製 造	秋 田 茂	諸 星 イ ン キ (株)	相 談 役
	事 務 用 品 配 布			
光 学 製 品	眼 鏡 商			
写 真	肖 像 写 真	中 野 実	(有) 中 野 商 事	代表取締役
プ ラ ス チ ッ ク 工 業	プ ラ ス チ ッ ク 材 料 製 造	柴 田 清	三 新 工 業 (株)	取締役社長
	ビ ニール シート 加 工	富 永 力	富 永 高 周 波 工 業 (株)	取締役社長
印 刷 及 出 版	新 聞 配 布			
	印 刷			
不 動 産 業	ビ ル 賃 貸	野 路 久 治		
	賃 地			
レ ク リ エーション	ボ ー リ ン グ 場	三 沢 君 夫	三 沢 合 資 会 社	代 表 者
	ス ポー ツ 用 品 配 布			
	遊 園 地	沢 山 勇 三	特殊法人 こどもの国協会	常任理事 園 長
宗 教	神 道	志 田 宝	神 取 前 川 神 社	宮 司
ゴ ム 工 業	ゴ ム 製 品 配 布			
倉 庫	倉 庫			
運 輸	タ ク シ ー 業			
	通 運			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
木 材 工 業	木 材 配 布			
シニア アクティブ会員				
衣 料 及 雑 貨	衣 料 配 布	岩 崎 董 正	岩 崎 呉 服 店	代表取締役
施 設 及 病 院	病 院	戸 田 修	長 津 田 厚生総合病院	院 長
運 輸	タ ク シ ー 業	鈴 木 憲 一	榎 田 園 都 市 交 通	取締役会長

歴 代 会 長 幹 事

創立～ 4 5. 6 迄	石 川 治 道	柴 田 清
4 5. 7 ～ 4 6. 6	石 川 治 道	柴 田 清
4 6. 7 ～ 4 7. 6	秋 田 茂	三 沢 君 夫
4 7. 7 ～ 4 8. 6	小 林 安 雄	高 橋 正 文

Date	Time	Place	Remarks
1900	10:00	St. Louis	Left for St. Louis
1900	10:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	11:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	11:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	12:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	12:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	13:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	13:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	14:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	14:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	15:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	15:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	16:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	16:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	17:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	17:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	18:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	18:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	19:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	19:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	20:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	20:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	21:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	21:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	22:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	22:30	St. Louis	Arrived St. Louis
1900	23:00	St. Louis	Left St. Louis
1900	23:30	St. Louis	Arrived St. Louis



